2024年12月期 第2四半期（中間期） 決算補足説明資料

株式会社アシックス　2024年8月13日

OneASICS会員
新規登録はこちらから

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

社長COOの富永満之です。
本日はご多用のなか、ご参加いただきましてありがとうございます。

オリンピックが8月11日に閉幕しました。
スポーツの感動やTEAM JAPANのサンライズレッド、
またイエローカラーをアクセントとしたシューズを通じて、
アシックスブランドを世界に発信することができました。

それでは、私からは「2024年12月期第2四半期　決算のポイントやトピック」を
説明します。

その後、決算の詳細はCFOの林から説明します。

INDEX

1. 決算ポイント、トピック

2. 連結業績

3. 連結経営成績（カテゴリー別）

4. 連結経営成績（地域別）

5. 連結財政状態

6. 連結業績予想

7. その他

Appendix

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

INDEX

1. 決算ポイント、トピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
4. 連結経営成績（地域別）
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. その他
Appendix

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

連結決算ハイライト

（単位：億円）

第2四半期（1-6月）	FY23 Q2 実績	FY24 Q2 実績	前年同期比 上段：増減額 下段：増減率
売上高	2,900	3,421	+521 +18.0%
売上総利益	1,479	1,900	+421 +28.4%
売上総利益率	51.0%	55.5%	+4.5ppt
販管費	1,143	1,311	+168 +14.6%
販管費率	39.4%	38.3%	△1.1ppt
人件費	364	403	+39 +10.7%
広告宣伝費	192	233	+41 +21.1%
広告宣伝費率	6.6%	6.8%	+0.2ppt
賃借料	62	69	+7 +10.6%
減価償却費	85	97	+12 +15.0%
その他経費	440	509	+69 +15.7%
営業利益	336	589	+253 +75.5%
営業利益率	11.6%	17.2%	+5.6ppt
経常利益	338	578	+240 +71.0%
特別損益	△4	2	+6
親会社株主に帰属する中間純利益	247	422	+175 +70.3%

	FY23 Q2 実績	FY24 Q2 実績	増減額	増減率
海外売上高	2,330	2,778	+448	+19.2%
海外比率	80.4%	81.2%	-	+0.8ppt

為替影響除く	連結売上高増減	+251	+8.7%
	連結営業利益増減	+212	+63.3%
	連結純利益増減	+132	+53.5%

平均為替レート（円）	FY23 Q2 実績	FY24 Q2 実績
1ドル	135.98	152.14
1ユーロ	147.19	164.69
1人民元	19.54	21.13

3

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

こちらは連結決算ハイライトとなります。

2024年12月期 第2四半期（中間期） 連結決算ポイント①

全体：全カテゴリー・全リージョン・全チャネルで粗利益率が改善.
その結果、過去最高の営業利益、営業利益率を達成.

- 売上高　：3,421億円（前年同期比：+18.0% 、為替影響除く：+8.7%）
- 粗利益率：55.5%（前年同期比：+4.5ppt）
- 営業利益：589億円（前年同期比：+75.5%）/ 営業利益率：17.2%（前年同期比：+5.6ppt）
- 中間純利益：422億円（前年同期比：+70.3%）

カテゴリー業績：P.RUNは2桁増収. SPS、OTは50%超の大幅増収.

- パフォーマンスランニング：カテゴリー利益率　24.0%　前年同期比 +4.2 ppt
  日本、北米、中華圏、東南・南アジアが全体の伸びを強く牽引.（売上高：前年同期比+15.6%）
- スポーツスタイル：カテゴリー利益率　27.9%　前年同期比 +8.6 ppt
  引き続きVINTAGE TECHなどの販売が好調であり、特に、北米では2倍超、中華圏では約2倍の増収.（売上高：前年同期比 +63.8%）
- オニツカタイガー：カテゴリー利益率　38.0%　前年同期比 +10.3 ppt
  日本ではインバウンド売上が過去最高となったこともあり大幅増収、中華圏、東南・南アジアなども大きく成長.（売上高：前年同期比 +55.1%）

4

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

それでは、2024年12月期第2四半期の決算のポイントを説明します。

第1四半期に引き続き、全カテゴリー、全リージョン、全チャネルで粗利益率が改善し、
その結果、各段階利益が過去最高となりました。

売上高は3,421億円。前期比で18%のプラス成長となり、為替影響を除いても
約9%成長しました。
粗利益率は、エントリーモデルの絞込み等もあり
前期比4.5ポイント改善の55.5%となりました。
これに販管費コントロールも機能し、営業利益は589億円、
営業利益率は17.2%と前期比で大きく上昇しました。

カテゴリー別では、全てのカテゴリーが好調に推移しましたが、
パフォーマンスランニングは2桁増収、スポーツスタイル及びオニツカタイガーは
50%超の大幅増収となりました。
これらのカテゴリー利益率も前期比大きく伸長しています。

2024年12月期 第2四半期（中間期） 連結決算ポイント②

地域業績：主要地域において大幅増益

- アシックスジャパン：営業利益率　23.1%　前年同期比 +9.7 ppt
  販売単価の上昇やDTC比率の向上による粗利益率の改善、さらに販管費率の低下もあり営業利益率は大幅に改善
- 欧州：営業利益率　16.5%　前年同期比 +6.3 ppt
  エントリーモデルの絞込みなどによる粗利益率の改善により営業利益率が大幅に改善
- 中華圏：営業利益率　22.5%　前年同期比 +1.4 ppt
  弱い経済指標が見られる中国でも、全カテゴリーで増収（売上高： 前年同期比 +21.5%）

在庫効率：増収効果等によりDIOは改善

- 連結のDIO（棚卸資産回転期間）は154日と前年同期比改善（27日短縮）
- 25SSシーズン商品から、カテゴリーを中心として、需要計画の妥当性を地域毎に精査する「レビュー会」を実施、需要最適化・余剰在庫削減に取組み中

資本政策：政策保有株式の売却、株式売出し、自己株式取得

- 資本効率向上に向けてアシックスグループが保有する全政策保有株式の年内売却を発表
- グローバル水準のコーポレートガバナンスの追求に加え、グローバル競合の株主構成、OneASICS経営推進や資本コスト低減を見据えた株主構成の再構築等のため、金融機関等の安定株主が持つ政策保有株式をグローバルで売出し
- 財団設立と政策保有株式売却益を見据え、200億円の自己株式の取得を発表

5

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

続きまして、地域ごとの業績です。
アシックスジャパン、欧州、中華圏において大幅増益となりました。

続いて、在庫効率です。増収効果により棚卸資産回転期間は154日で前年と比較し約1か月短縮しています。

最後に、資本政策についてです。
アシックスが保有する全政策保有株式の年内売却を発表しました。
同時に、グローバルでの株式売出しも実施しました。
加えて、財団設立準備と政策保有株式売却益を見据え、200億円の自己株式取得も発表しています。

オリンピックには、300名を超えるアシックスのサポート選手が出場しました。

私も実際に現地を訪れ、スケートボード・テニス等を観戦しました。
熱戦を繰り広げるアスリートのみなさんを間近で拝見し、
改めてスポーツの持つ力を実感しました。

こちらでは、アシックスがサポートする選手を紹介しています。

また、アシックスとしては、創業哲学の紹介や商品展示、
ホスピタリティエリアを備えるアシックスハウスを設置し、
テニスのジョコビッチ選手をはじめとした多くのアスリートの皆さんに
来場いただきました。

政策保有株式売却及び株式売出し

- アシックスグループが持つ政策保有株式を2024年内に全て売却
- 国内及び米国を含む海外にて普通株式の売出しを実施
- グローバル水準のコーポレートガバナンスを追求し、資本市場においてもフロントランナーになることを目指す

狙い

1. 資本効率向上及び資本市場への説明責任を果たす
2. グローバルな資本市場と全面的に向き合う
3. 優良機関投資家の取り込み
4. 個人株主の拡充とOneASICS経営の推進
5. 資本コストの低減

結果

株主基盤を再構築
長期的なアシックスの成長に期待する株主が増加

個人株主	機関投資家
15,210名 が株式購入	127社 が株式購入
（2023年末時点：33,855名）	（うち、新規投資家94社）

7

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

7月12日に開示した政策保有株式売却及び株式売出しにつきまして、
説明させていただきます。

アシックスグループが持つ政策保有株式を2024年内にすべて売却します。

株式売出しにつきましては、国内および米国を含む海外にて、売出しを実施し、
結果として、これまでの株主基盤を再構築し、安定株主の大部分が国内外の
優良機関投資家と個人投資家に置き換わりました。

特に、株式を購入いただいた127社の機関投資家のうち、
94社が新規投資家となり、資本市場においてもアシックスの成長への期待が
高まっていると認識しています。

加えて、15,000人を超える個人投資家の皆様にも株式を購入いただきました。

一般財団法人設立検討

1 財団の目的

- 「誰もが一生涯スポーツに関わり、心と身体が健康で居続けられる世界」を実現

2 財団の概要

- 名称：一般財団法人 ASICS Foundation（仮称）
- 設立年月：2025年4月（予定）
- 活動内容：グローバルで、社会的または経済的困難な状況にある青少年、障がい者、女性等へ、運動・スポーツを通した支援を提供する団体への助成

3 活動原資

- アシックスの保有する自己株式を処分（財団に割当）、配当収入を活動原資に
- 希薄化による株式市場への影響を考慮し、議決権割合で1%未満の処分
- 信託設定による議決権不行使のスキームも検討

8

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

また、一般財団法人設立の検討開始についても開示しました。

アシックスは財団設立を通じて、これまで以上に、アシックスが掲げる「誰もが一生涯、運動・スポーツに関わり、心と身体が健康で居続けられる世界を実現」してまいります。

この財団では、グローバルで、社会的または経済的困難な状況にある青少年、障がい者、女性等へ支援を行います。

活動原資として、アシックスの自己株式からの配当収入を充てる予定です。

投資家の皆様のみならず、全ステークホルダーから賛同を得る形で進めたいと考えています。

デジタルに関する取組み

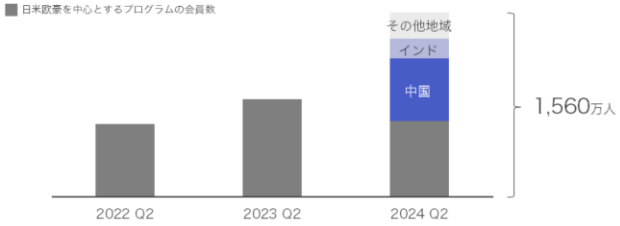
- OneASICS会員数及びEC売上高はともに順調に成長
- 経済産業省と東京証券取引所が共同で選ぶ「DXグランプリ2024」に選定

OneASICS会員数とEC売上高の推移

	2022年Q2	2023年Q2	2024年Q2	前年同期比
OneASICS会員数	620万人	830万人	1,560万人*1 (1,056万人*2)	+27.2%*2
EC売上高	363億円	496億円	671億円	+35.3%

*1 OneASICS経営を全社一丸で推進すべく、今期より従来の日米欧豪を中心とするプログラムの会員数に加え、中国・インドなどで展開するローカルプログラムの会員数を集計。加えて、個人情報の扱いの観点から、アシックスプライバシーポリシーに基づき2年以上ご利用のないアカウントの失効・削除を実施
*2 2023年Q2と前提を一致させた会員数（日米欧豪が中心、削除実施前）。増減もこの会員数と比較

OneASICS会員数推移



DXグランプリ2024

DXグランプリ評価ポイント

- **経営価値貢献**
  データ経営を行うことにより、経営の見える化、サプライチェーンの強化などを行い、実際に財務成果を出すなど、デジタル戦略がビジネスモデルの強化につながっている
- **DX実現能力**
  システム基盤をグローバルで統合。加えて、機能役割に応じたグローバルな拠点設置・人材配置を行っている
- **ステークホルダーへの開示**
  経営戦略とデジタル戦略が融合しており、デジタル戦略が企業価値に貢献していることがよく理解できる

9

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

OneASICS経営を進めている中で、大変光栄な評価をいただきましたので
紹介させてください。

経済産業省と東京証券取引所が選ぶ「DX銘柄」において、「DXグランプリ2024」に
選定いただきました。

全ての起点をOneASICSとして、デジタル戦略があらゆる事業や経営基盤と
融合している点を評価いただきました。

私からは以上となります。
決算の詳細については林よりご説明させていただきます。

INDEX

1. 決算ポイント、トピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
4. 連結経営成績（地域別）
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. その他
Appendix

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2024年12月期 第2四半期（中間期） 概要

売上高	3,421億円（前年同期 2,900億円）	前年同期比 ：+521億円 +18.0% 為替影響除く：+251億円 +8.7%	

過去最高．前年同期比で+18.0%、為替影響を除いても+8.7%の成長．

- 北米ランニング専門店で為替影響除き+27.9%の大幅伸長など、全地域で好調に推移し、パフォーマンスランニングは+15.6%の成長．
- VINTAGE TECHの継続的な成長により、北米では2倍超、中華圏では約2倍の増収となり、スポーツスタイルで+63.8%の大幅伸長．
- インバウンド売上が過去最高の日本に加え、中華圏、東南・南アジアなども大きく成長したオニツカタイガーで+55.1%の大幅増収．

営業利益	589億円（前年同期 336億円）	前年同期比 ：+253億円 +75.5% 為替影響除く：+212億円 +63.3%	

過去最高．前年同期比75%超の増益．

- 粗利益率は55.5%．高付加価値製品への戦略的なシフトやチャネルミックスの良化などが奏功し、前年同期から+4.5ppt改善．
- 営業利益率は前年同期の11.6%から17.2%へ（+5.6ppt）．

中間純利益	422億円（前年同期 247億円）	前年同期比 ：+175億円 +70.3% 為替影響除く：+132億円 +53.5%	

過去最高．前年同期比70%超の増益．

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

林でございます。

概要については、後ほど、ご覧いただければと思います。

連結決算ハイライト 再掲

（単位：億円）

第2四半期（1-6月）	FY23 Q2 実績	FY24 Q2 実績	前年同期比 上段：増減額 下段：増減率
売上高	2,900	3,421	+521 +18.0%
売上総利益	1,479	1,900	+421 +28.4%
売上総利益率	51.0%	55.5%	+4.5ppt
販管費	1,143	1,311	+168 +14.6%
販管費率	39.4%	38.3%	△1.1ppt
人件費	364	403	+39 +10.7%
広告宣伝費	192	233	+41 +21.1%
広告宣伝費率	6.6%	6.8%	+0.2ppt
賃借料	62	69	+7 +10.6%
減価償却費	85	97	+12 +15.0%
その他経費	440	509	+69 +15.7%
営業利益	336	589	+253 +75.5%
営業利益率	11.6%	17.2%	+5.6ppt
経常利益	338	578	+240 +71.0%
特別損益	△4	2	+6
親会社株主に帰属する中間純利益	247	422	+175 +70.3%

	FY23 Q2 実績	FY24 Q2 実績	増減額	増減率
海外売上高	2,330	2,778	+448	+19.2%
海外比率	80.4%	81.2%	-	+0.8ppt

為替影響除く	連結売上高増減	+251	+8.7%
	連結営業利益増減	+212	+63.3%
	連結純利益増減	+132	+53.5%

平均為替レート（円）	FY23 Q2 実績	FY24 Q2 実績
1ドル	135.98	152.14
1ユーロ	147.19	164.69
1人民元	19.54	21.13

12

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

連結決算ハイライトからご説明させていただきます。

連結売上高は、過去最高の3,421億円と前期比521億円の増収でした。
これは約18%の成長であり、為替影響を除いても約9%の伸長となりました。

売上総利益率は、第1四半期に引き続き「プロダクトミックス」「チャネルミックス」「リージョンミックス」の良化に向けた取組みの成果が発現し、前年同期比では、販売価格の適正化で3.0ppt、チャネルミックスで0.8pptの良化等もあり、4.5ppt改善し、前年を大きく上回る55.5%でした。

販管費は、1,311億円と前期比で168億円増加しましたが、増収率の範囲内となっております。なお、販管費率は38.3%でした。後ほど詳細をご説明します。

これらにより営業利益、経常利益、中間純利益は第2四半期においてそれぞれ過去最高となりました。

連結決算ハイライト（3ヶ月期間）

asics sound mind, sound body

（単位：億円）

第2四半期（4-6月）	FY23 Q2 実績	FY24 Q2 実績	前年同期比 上段：増減額 下段：増減率
売上高	1,378	1,680	+302 +22.0%
売上総利益	715	952	+237 +33.1%
売上総利益率	51.9%	56.7%	+4.8ppt
販管費	600	701	+101 +16.6%
販管費率	43.6%	41.7%	△1.9ppt
人件費	189	212	+23 +12.5%
広告宣伝費	105	128	+23 +21.3%
広告宣伝費率	7.6%	7.6%	+0.0ppt
賃借料	32	36	+4 +11.3%
減価償却費	44	49	+5 +13.0%
その他経費	230	276	+46 +20.0%
営業利益	115	251	+136 +119.2%
営業利益率	8.3%	15.0%	+6.7ppt
経常利益	119	248	+129 +108.0%
特別損益	△1	2	+3
親会社株主に帰属する四半期純利益	84	155	+71 +82.5%

	FY23 Q2 実績	FY24 Q2 実績	増減額	増減率
海外売上高	1,109	1,377	+268	+24.1%
海外比率	80.5%	81.9%	-	+1.4ppt

為替影響除く	連結売上高増減	+168	+12.2%
	連結営業利益増減	+119	+103.5%
	連結純利益増減	+47	+56.0%

四半期推移	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	1,741	1,680		
営業利益	338	251		
営業利益率	19.4%	15.0%		
親会社株主に帰属する四半期純利益	267	155		

13

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

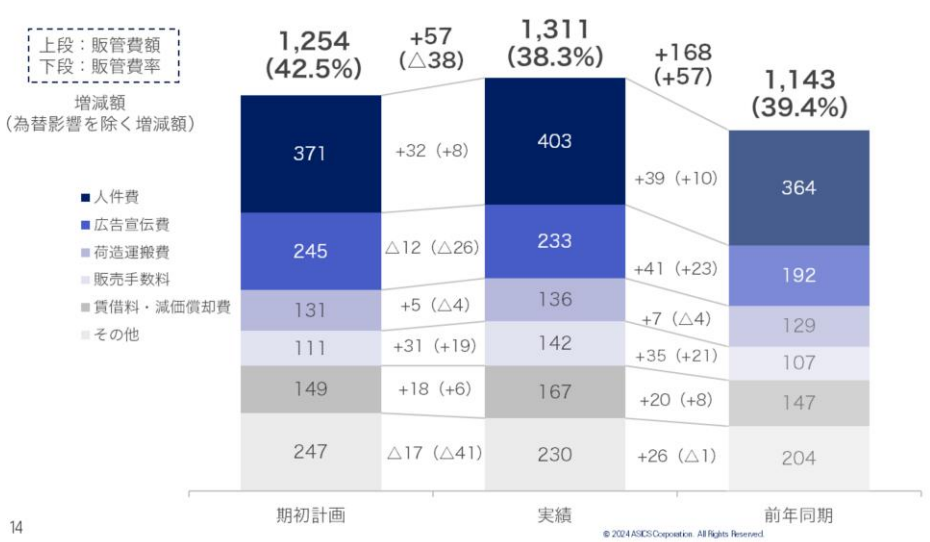
次に、直近3ヶ月期間の損益状況です。

売上高は、パフォーマンスランニング、スポーツスタイル、オニツカタイガーが
好調に推移しており、前年同期比で 302 億円の増収。率として22%のプラス成長
となり、為替影響を除いても約12%の増収でした。

後ほどご説明しますが、7 月の売上は速報値ですが、
過去最高の679億円となっており、引き続き強いモメンタムを継続しております。

販管費の状況

- 期初計画比は、売上が計画比+7.9%の増収となった一方、販管費は△3.0%（いずれも為替影響を除く）.
- 前年同期比は、 168億円増加も為替影響(+111億円)を除くと57億円増加に留まる．主要因は今期導入したプロフィットシェア（約21億円）などの人的資本投資の強化による人件費の増加、オリンピック/パラリンピック関連、デジタル関連の広告宣伝費の増加、売上連動コストの増加によるもの．但し、販管費率は38.3%へ.



平均為替レート（円）	FY24Q2 計画	FY24Q2 実績	FY23Q2 実績
1ドル	140.00	152.14	135.98
1ユーロ	150.00	164.69	147.19
1人民元	19.50	21.13	19.54

14

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

販管費の状況です。

売上が大きく増加している中で、人的資本投資の強化による人件費の増加や、
広告宣伝費用の増加があったものの、コストコントロールもあり、
販管費率は38.3%と計画比及び前年同期比でも大きく良化しております。

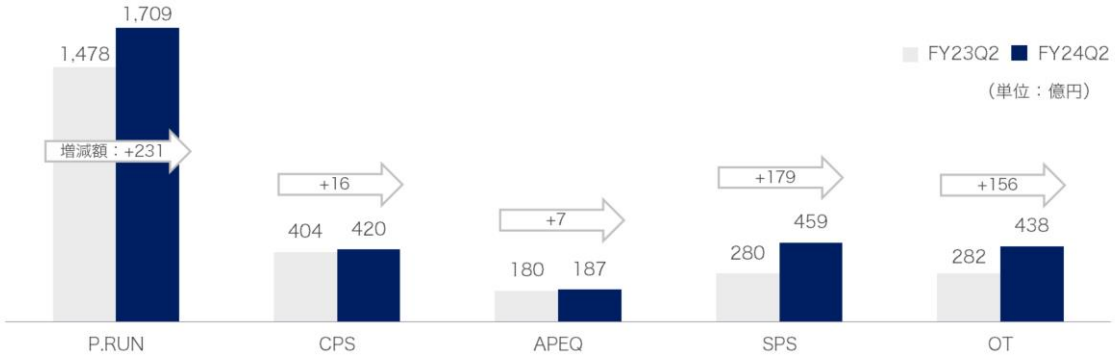
INDEX

1. 決算ポイント、トピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
4. 連結経営成績（地域別）
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. その他
Appendix

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

カテゴリー別連結売上高

- P.RUNは、エントリーモデルの絞込みを行いながらも、全地域で増収.
- SPSは全地域で大幅増収. 特に北米では２倍超、中華圏は約２倍と著しく伸長.
- OTは全地域で大幅増収. 特に、インバウンド売上の影響が大きい日本に加え、中華圏、東南・南アジアでも大幅伸長.



	P.RUN	CPS	APEQ	SPS	OT
増減率	+15.6%	+4.1%	+3.5%	+63.8%	+55.1%
為替影響を除く	+4.7%	△2.7%	△3.8%	+48.5%	+47.3%

16

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

カテゴリー別連結売上高です。

パフォーマンスランニングでは、エントリーモデルの絞込みを行いながらも全地域で増収となりました。

また、スポーツスタイル、オニツカタイガーが
特に好調に推移しており、これらのカテゴリーは全地域で増収でした。

カテゴリー利益等一覧

- カテゴリー利益はCPSを除く全カテゴリーで増益.
- カテゴリー外コストは、為替影響（+13億円）を除いて実質+3億円の増加．コストオーナー制の下、売上拡大の状況においても前年同期比ほぼ横ばいでコントロール.

（単位：億円）

	P.RUN	CPS	APEQ	SPS	OT	Others	Total
売上高	1,709 (+231)	420 (+16)	187 (+7)	459 (+179)	438 (+156)	208 (△68) ※	3,421 (+521)
カテゴリー利益	410 (+118)	80 (△7)	21 (+8)	128 (+74)	166 (+88)		
カテゴリー外コスト							211 (+16)
連結営業利益							589 (+253)

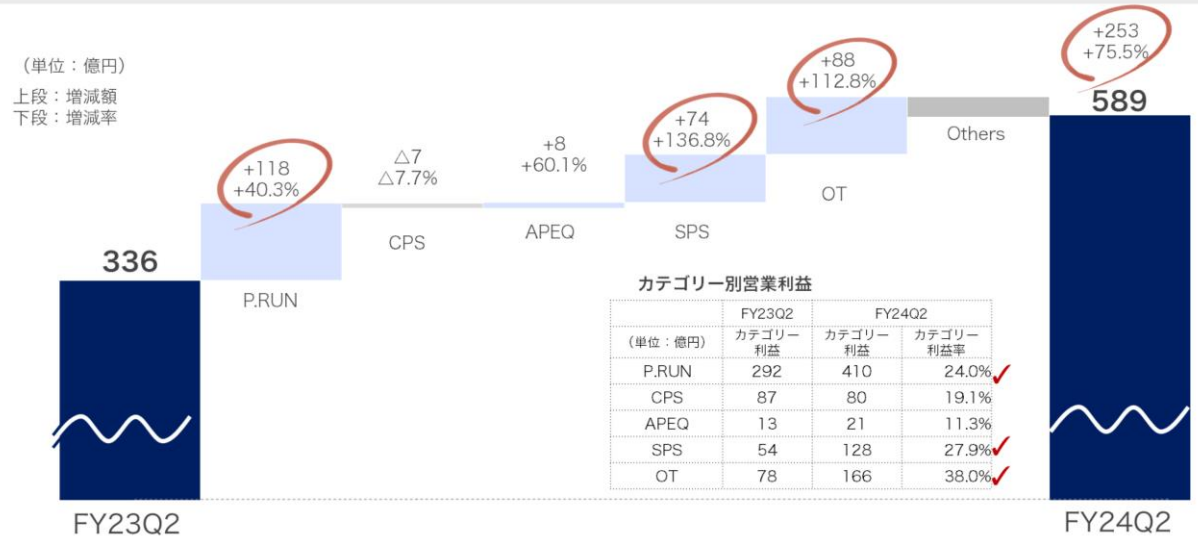
（ ）内は前年同期比　※Othersの減収は、主にHaglöfs事業を前期に売却した影響（FY23Q2売上高48億円）によるものです.

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

カテゴリー利益等につきましては、お時間のある際に、資料をご確認ください。

連結営業利益内訳（カテゴリー別）

- 連結全体では第2四半期において500億円を超える過去最高益に.
- P.RUN、SPS、OTは主に増収や粗利益率の改善により大幅増益.



カテゴリー別営業利益

（単位：億円）	FY23Q2 カテゴリー利益	FY24Q2 カテゴリー利益	FY24Q2 カテゴリー利益率
P.RUN	292	410	24.0%
CPS	87	80	19.1%
APEQ	13	21	11.3%
SPS	54	128	27.9%
OT	78	166	38.0%

18

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

連結営業利益内訳です。

ご覧の通りコアパフォーマンススポーツ以外のカテゴリーで増益となり、
特にパフォーマンスランニング、スポーツスタイル、オニツカタイガーは
大幅増益となりました。
率としても20%を大きく超えるカテゴリー利益率となっています。

パフォーマンスランニング（P.RUN）

（単位：億円）

第2四半期（1-6月）	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	1,478	1,709	+231	+15.6%
為替影響除く		1,548	+70	+4.7%
カテゴリー利益	292	410	+118	+40.3%
カテゴリー利益率	19.8%	24.0%	-	+4.2ppt

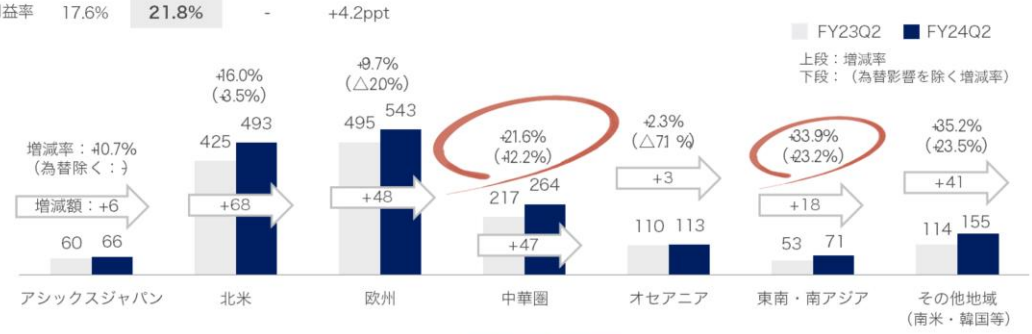
3か月期間（4-6月）	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	699	830	+131	+18.7%
為替影響除く		751	+52	+7.4%
カテゴリー利益	123	181	+58	+46.3%
カテゴリー利益率	17.6%	21.8%	-	+4.2ppt

SUPERBLAST 2 PARIS

前作よりもさらに履き心地を追求し、アスリートから市民ランナーまで日々のトレーニングをサポートする、軽量かつ反発性に優れたランニングシューズ.

ポイント

- 売上高および粗利益は、エントリーモデルの絞込みを行いながらも、全体では増収増益.
- 北米でのランニング専門店向け売上は前年同期比+27.9%の増収（為替除く）.
- 第2四半期3ヵ月間の売上高は、為替を除いても前年同期比+7.4%の増収.
- 粗利益率は52.9%（前年同期比+4.5ppt）と改善. 主にチャネルミックスの良化や、特に北米や欧州におけるエントリーモデルの絞込み等で粗利益率向上.
- カテゴリー利益は大幅増益. 粗利益率向上により、カテゴリー利益率向上.
- マラソンシーズンに向けて、パフォーマンスアイテムを積極的に投入していく.



19

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

パフォーマンスランニングです。

売上高は、約16%プラスの1,709億円。中華圏、東南・南アジアにおいて大幅増収でした。
北米では第1四半期に引き続きランニング専門店での売上が好調に推移し前年同期比約30%の増収となりました。

粗利益率は、チャネルミックスの良化等により、4.5ppt良化の52.9%。
その結果、カテゴリー利益は118億円増益の410億円、
カテゴリー利益率も24.0%と大幅伸長となりました。

コアパフォーマンススポーツ（CPS）

SKY ELITE FF MT 3 PARIS
METARISE 2のDNAを受け継ぐ、反発性とクッション性を兼ね備えたフラッグシップモデル、プロバレーボール 高橋藍選手着用モデル。

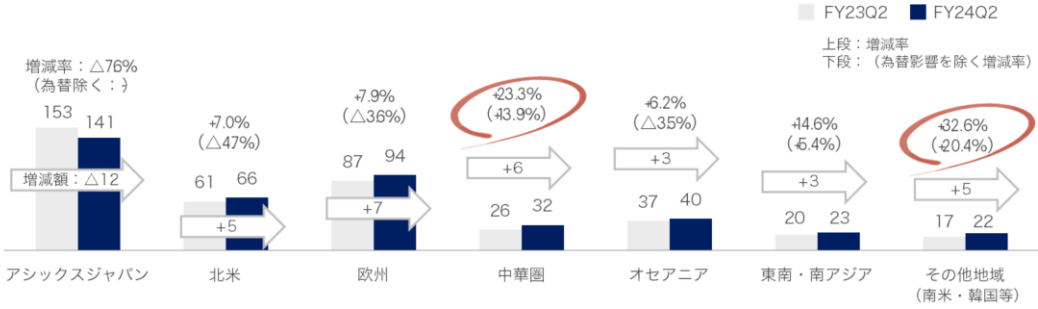
（単位：億円）

第2四半期（1-6月）	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	404	420	+16	+4.1%
為替影響除く		393	△11	△2.7%
カテゴリー利益	87	80	△7	△7.7%
カテゴリー利益率	21.5%	19.1%	-	△2.4ppt

3か月期間（4-6月）	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	177	172	△5	△2.8%
為替影響除く		160	△17	△9.8%
カテゴリー利益	30	16	△14	△41.4%
カテゴリー利益率	16.9%	9.5%	-	△7.4ppt

ポイント

- 売上高は、一部事業の戦略的縮小もありアシックスジャパンが減収となったものの、中華圏、その他地域が好調により増収。
- 粗利益率は44.9%（前年同期比+0.9ppt）と改善。
- カテゴリー利益は減益も、計画を上回り推移。
- 数量限定モデルや、プロバレーボール 高橋藍選手など契約アスリートを活用したイベントによりビジネスを強化し、アシックスならではのブランド体験を提供。



20

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

コアパフォーマンススポーツです。

売上高は、約4%プラスの420億円。
アシックスジャパンにおいては一部事業の戦略的縮小もあり減収となったものの、
中華圏やその他地域は好調に推移しました。

アパレル・エクィップメント（APEQ）

MOTION MUSCLE SUPPORTスピードタイツ
走行動作の効率的なサポート機能を追究したタイツ.

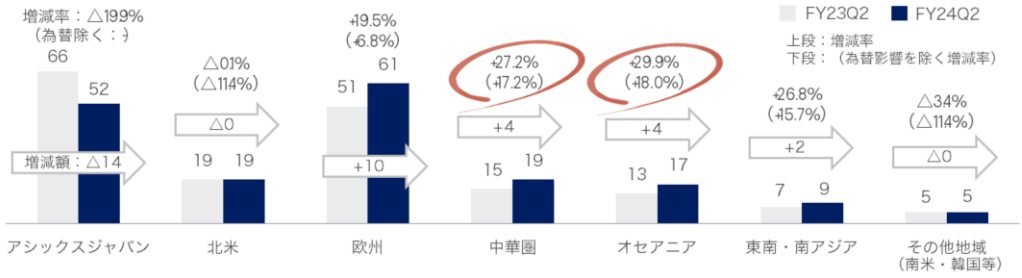
（単位：億円）

第2四半期（1-6月）	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	180	187	+7	+3.5%
為替影響除く		173	△7	△3.8%
カテゴリー利益	13	21	+8	+60.1%
カテゴリー利益率	7.3%	11.3%	-	+4.0ppt

3か月期間（4-6月）	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	84	93	+9	+10.8%
為替影響除く		87	+3	+2.8%
カテゴリー利益	7	10	+3	+42.9%
カテゴリー利益率	8.3%	11.5%	-	+3.2ppt

ポイント

- 売上高は、主に日本地域の戦略的なビジネス縮小の影響で減収. 計画通りの進捗.
- 第2四半期3ヵ月間の売上高は欧州、中華圏、オセアニアの影響で増収.
- 粗利益率は52.6%（前年同期比+3.8ppt）と改善. 特に欧州での価格適正化による良化.
- カテゴリー利益は北米および欧州の粗利率改善により増益.
- 筋肉のエネルギーロスを低減するMOTION MUSCLE SUPPORTスピードタイツをトップアスリートに提供し、各種マラソン大会でのブランド露出の最大化を図る.



© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

アパレル・エクイップメントです。

売上は日本地域の戦略的な絞込みにより減少となっておりますが、
カテゴリー利益は粗利益率の改善により、前年同期比約60％プラスの21億円でした。

スポーツスタイル（SPS）

GEL-NIMBUS10.1

2008年に発売された「GEL-NIMBUS10」をベースに、象徴的なディテールや機能性を搭載してライフスタイルシューズとして現代風にアップデートしたモデル.

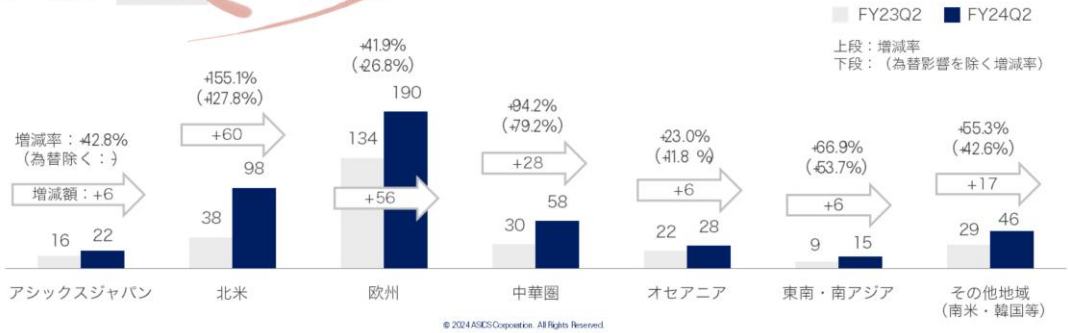
（単位：億円）

第2四半期（1-6月）	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	280	459	+179	+63.8%
為替影響除く		417	+137	+48.5%
カテゴリー利益	54	128	+74	+136.8%
カテゴリー利益率	19.3%	27.9%	-	+8.6ppt

3か月期間（4-6月）	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	126	224	+98	+78.6%
為替影響除く		204	+78	+61.5%
カテゴリー利益	17	57	+40	+235.3%
カテゴリー利益率	13.5%	25.6%	-	+12.1ppt

ポイント

- 売上高は、前年同期比で大幅増収.
- 第2四半期3ヵ月間の売上高は第1四半期に引き続きVINTAGE TECHを中心としたトレンドにより牽引. 特に北米、欧州での好調な販売により前年に対して増収.
- 粗利益率は、高粗利率商品の好調な販売により51.5%（前年同期比+3.0ppt）と改善.
- カテゴリー利益は大幅増益.
- 戦略的にブランド価値及び新商品を訴求するため、パリファッションウィーク期間中のポップアップに代表されるようなイベントならびにSNS・ECなどのデジタルチャネルを通じて、プロダクトストーリーを発信していく.



22

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

スポーツスタイルです。

売上高は約64%プラスの459億円。全地域で為替除きでも50%近く成長しており非常に好調に推移しております。

粗利益率は、高粗利率商品の好調な販売により3.0ppt良化しました。

カテゴリー利益は128億円、カテゴリー利益率は約28%でした。

オニツカタイガー（OT）

DELECITY L
定番モデル「DELECITY」をクラシックにアップデートした
コートシューズがベースの「DELECITY L」.

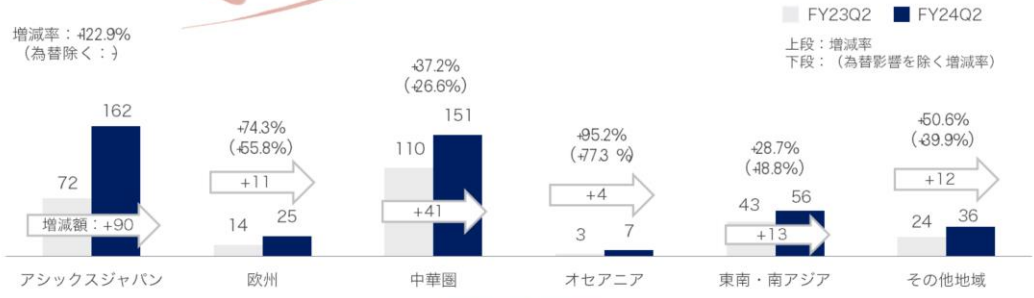
（単位：億円）

第2四半期（1-6月）	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	282	438	+156	+55.1%
為替影響除く		416	+134	+47.3%
カテゴリー利益	78	166	+88	+112.8%
カテゴリー利益率	27.7%	38.0%	-	+10.3ppt

3か月期間（4-6月）	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	161	258	+97	+59.9%
為替影響除く		245	+84	+51.5%
カテゴリー利益	48	102	+54	+114.9%
カテゴリー利益率	29.8%	39.4%	-	+9.6ppt

ポイント

- 売上高は全地域で２桁以上の増収．特に日本、中華圏、東南・南アジアで大幅増収．
- 第2四半期3ヵ月期間の売上高は日本及び中華圏が好調に推移し、第1四半期3ヵ月期間を上回る伸長率．
- 粗利益率は734%（前期+5.2ppt）と改善．適切なブランドコントロールやリテール構成比率上昇．
- カテゴリー利益は、主に増収に伴う増益．
- 75周年アニバーサリーイベントを開催（7月パリ・8月東京）
- 過去最大規模にてミラノファッションショーへ参加（9月）



23

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

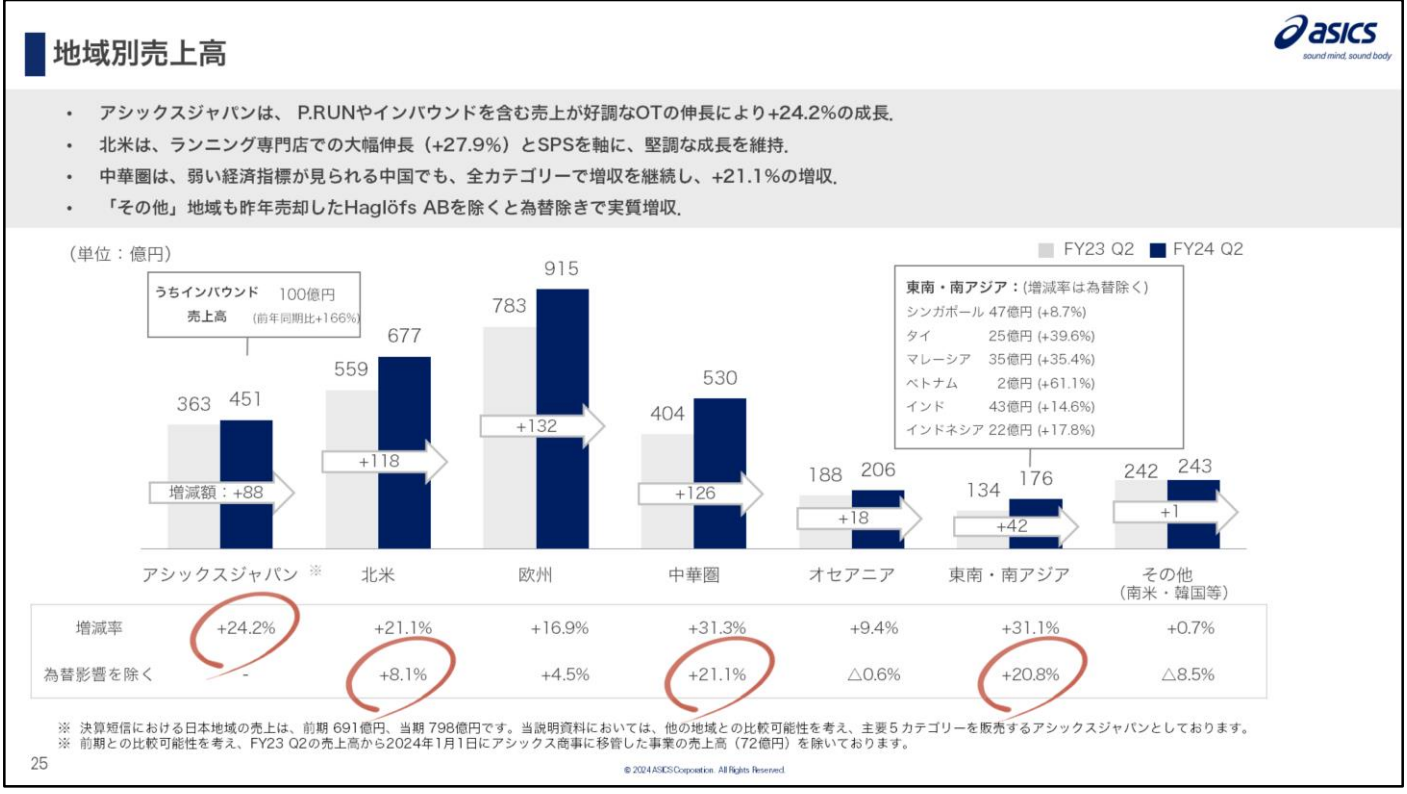
最後にオニツカタイガーです。

売上高は、約55%プラスの438億円。全ての地域で増収でした。
適切なブランドコントロールやリテール構成比が拡大したことで、
カテゴリー利益率は38%と大きく良化しました。

INDEX

1. 決算ポイント、トピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
4. 連結経営成績（地域別）
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. その他
Appendix

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.



地域別の売上高です。

アシックスジャパンはパフォーマンスランニングやインバウンド売上が好調な
オニツカタイガーの伸長により約25%の成長。

北米はランニング専門店の大幅伸長とスポーツスタイルの好調により、
堅調な成長を維持しております。

中華圏では為替除きで約21%、東南・南アジアにおいても為替除きで約20%と
力強く成長しました。

連結営業利益内訳（地域別）

- アシックスジャパンは、販売単価の上昇やDTC比率の向上による粗利益率の改善、さらに販管費率の低下もあり営業利益率は大幅に改善.
- 欧州は、戦略的なアカウントの絞り込みなどを背景に粗利率が上昇し、前年同期比+89.6%と大幅増益.
- 中華圏は、全カテゴリーで増収. 販売単価の上昇などによる粗利益率の改善もあり、大幅増益.

上段：増減額
下段：増減率

地域別営業利益

	FY23 Q2	FY24 Q2	
（単位：億円）	営業利益	営業利益	営業利益率
日本※1	80	130	16.3%
うち、アシックスジャパン※2	48	104	23.1% ✓
北米	5	67	9.9%
欧州	79	150	16.5% ✓
中華圏	84	119	22.5% ✓
オセアニア	31	37	18.0% ✓
東南・南アジア	29	39	22.4% ✓
その他	26	43	17.9%

※1 日本地域には、アシックスジャパンの他、アシックス商事、ニシスポーツなどの会社を含みます。
※2 前期との比較可能性を考え、FY23 Q2の営業利益から2024年1月1日にアシックス商事に移管した事業の営業利益（4億円）を除いております。

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

地域別の連結営業利益内訳です。

ご覧の通り全地域で増益となりました。
また、北米以外の地域では15%を超える営業利益率となっています。

北米地域における取組み

1 ランニング専門店におけるビジネス拡大とエントリーモデルの縮小

	2022	2023	2024
ランニング専門店シェア*	9.1%	11.0%	13.1% (6月)
エントリーモデル構成比（売上高ベース）	26.3%	22.2%	20.5% （上期）

*当社依頼調査会社の情報に基づくデータをもとに当社にて作成

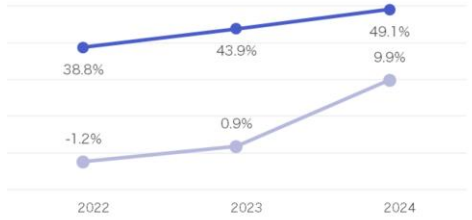
2 厳格な在庫管理のもと、スポーツスタイルの成長を追求

	2022（通期）	2023（通期）	2024（上期）
SPS 売上高成長率（前年同期比）	+16.2%	+32.0%	+155.1%

3 直営店の選択と集中

	2022（通期）	2023（通期）	2024（上期）
直営店数	95	73	72

北米地域における業績推移（上期）



ランニング専門店での商品試し履きイベントの様子

27

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

今回は、北米地域の最新状況をお伝えします。

北米地域では、収益性の改善に向けた従前からの取組みを継続しております。

北米では、収益性の改善にむけ、エントリーモデルのコントロール、差別化が難しくブランドバリューを発揮しにくい量販店ビジネスの見直しなどの取組みを継続しております。
その一方でランニング専門店でのシェアアップに向けた取組みに注力し、当該チャネルでのシェアを向上させブランド力を高めていきます。

また、スポーツスタイルの売上高が拡大しており、引き続き厳格な在庫管理のもと、規模の大きいスニーカー市場において、成長を加速させていきます。

これらの取組みの成果として、粗利益率は49.1%まで良化しています。

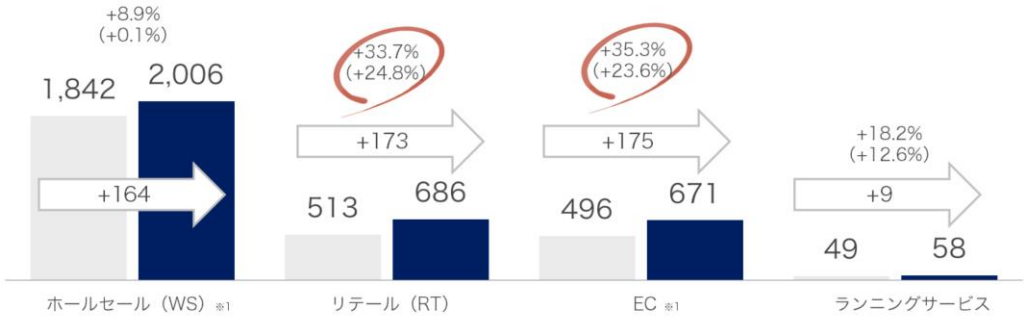
チャネル別売上高

- ホールセールは、北米、中華圏、東南・南アジアの２桁成長はあったものの、戦略的な事業撤退・縮小などの影響もあり+0.1%.
- リテールは、日本や中華圏などでの増収により+24.8%（アシックスジャパン +53.1%、中華圏 +17.3%）.
- ECは、OneASICS経営のもと、前年同期比+23.6%と、大幅伸長. 特に、中華圏（+28.9%）や欧州（+28.6%）が牽引.

（単位：億円）

FY23 Q2 ■ FY24 Q2

上段：増減率
下段：（為替影響を除く増減率）



	ホールセール（WS）※1		リテール（RT）		EC ※1		ランニングサービス	
チャネル別売上高構成	63.5%	**58.7%**	17.7%	**20.0%**	17.1%	**19.6%**	1.7%	**1.7%**

※1 自社ECサイトとマーケットプレイスはECに含み、ホールセールEリテーラーはホールセールに含んでおります.

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

チャネル別の売上高です。

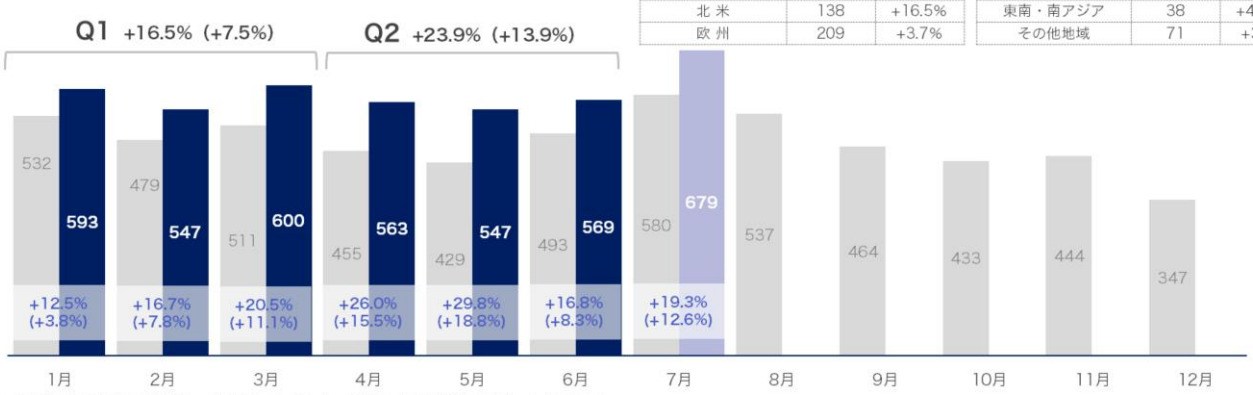
リテールとECがそれぞれ30%以上成長したこともあり、
DTC比率は39.6%となりました。

連結売上高（月別・四半期別）

■FY24 ■売上速報
■FY23 ■前年同月比%（為替影響を除く増減率）

- 24年7月単月売上は過去最高の679億円．前年同月比+19.3%．為替影響を除いても+12.6%と第2四半期並みの成長を維持．※1
- P.RUN/SPS/OTは好調を維持．特に、SPSは前年同月比+55.8%（為替除く+44.9%）、OTは前年同月比+44.1%（為替除く+38.8%）と大幅増収．
- 地域別では、全地域で堅調に推移．特に、アシックスジャパン、北米、オセアニア、東南・南アジア等で大きく伸長．
- なお、中華圏は、月初の着荷の調整分（9月分）を考慮すると実質２桁増収．

（単位：億円）



7月度主要地域売上

	売上高	為替影響を除く増減率
連 結	679	+12.6%
アシックスジャパン	88	+41.8% ※2
北 米	138	+16.5%
欧 州	209	+3.7%

	売上高	為替影響を除く増減率
中華圏	84	+2.7%
オセアニア	47	+13.4%
東南・南アジア	38	+43.3%
その他地域	71	+3.2% ※2

※ 2024年7月の売上高は速報データに基づいているため、確定データとは差異が生じることがあります．
※1 月別・四半期別、及び地域別売上高増減率について、前期に売却したHaglöfs ABの影響額を除いております．
※2 増減率について、2024年1月よりアシックスジャパンからアシックス商事に一部事業を移管した影響（11億円）を除いております．

29

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

続きまして、連結売上高の月次推移です。

7月の売上は679億円と単月としては過去最高の売上となりました。
前年同月比19%増、為替除きでも12%の増加となりました。

アパレルを除くカテゴリーで、好調に推移しております。
特にSPSは前年同月比で約55%、OTは約44%の成長となり、大幅増収でした。

地域別では全地域で堅調に推移しております。
主にアシックスジャパンや北米、オセアニア、東南南アジア等で大きく伸長しております。

INDEX

1. 決算ポイント、トピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
4. 連結経営成績（地域別）
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. その他
Appendix

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

連結貸借対照表

- 好調な売上や為替影響による売掛金の増加などで運転資本は増加も、純資産積上げの範囲内.
- 手元現預金を社債償還、自己株式取得などに充当し、現預金水準をコントロール.
- 為替影響により総資産は膨らみがあったものの、純利益の増加により、自己資本比率は前期末比4.2ppt改善の48.3%.

（単位：億円）

総資産 5,169（前期末比+528）

流動資産 3,606（前期末比 +371）

固定資産 1,563（前期末比+157）

負債 2,652（前期末比+79）

純資産 2,517（前期末比+449）

主要な増減

現預金の減少	△78
売掛金の増加	+310
棚卸資産の増加	+69

主要な増減

有形固定資産の増加	+38
無形固定資産の増加	+79

主要な増減

支払手形及び買掛金の増加	+122
短期借入金の増加	+64
社債の減少	△200
未払法人税等の増加	+82

主要な増減

利益剰余金の増加	+348
自己株式の増加	△150
繰延ヘッジ損益の増加	+ 70
為替換算調整勘定の増加	+161

自己資本比率：48.3%（前期末：44.1%）

31

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

連結貸借対照表の状況です。

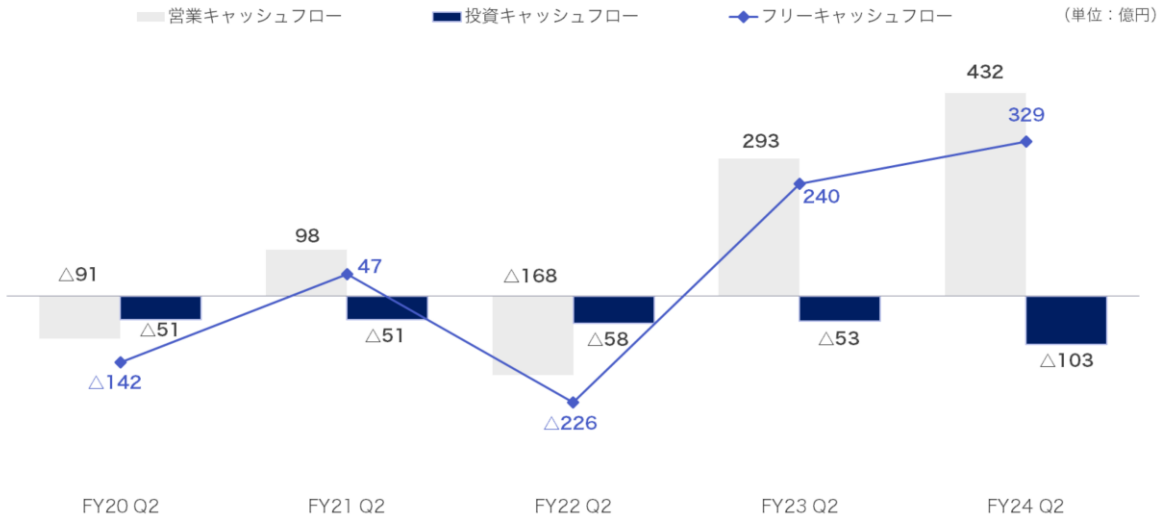
運転資本については、好調な売上や為替影響による売掛金が増加したものの
純資産積上げの範囲内となりました。

前期末に積み上げていた現預金は、社債償還および自己株式の取得などに充当しました。

また、為替影響などによる総資産の膨らみがあったものの、純利益の積上げもあり、
自己資本比率は前期末から4.2ppt上昇し、48.3%となりました。

連結キャッシュフロー

- 好調な業績を背景に、中間期としては過去最高の営業キャッシュフロー（432億円）を創出.
- 物流効率化を目的とした欧州、豪州での物流倉庫の増強により、設備投資は例年に比べ高水準.
- 利益の積上げに加え在庫適正化の取組みを継続し、成長投資や株主還元のためのキャッシュを確保していく方針.



32

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

連結キャッシュフローです。

好調な業績を受け、営業キャッシュフローは半期としては過去最高の
432億円となりました。

投資キャッシュアウトフローは、欧州と豪州において物流の効率化を目的とした
物流倉庫の増強により、例年と比較して高水準となりました。

利益の積み上げに加え、在庫水準の適正化に向けた取組みを継続し、
成長投資や株主還元を行うための原資を確保して参ります。

連結棚卸資産残高

- 棚卸資産残高は為替影響による押し上げにより、前年同期比で実質220億円減少（為替影響＋93億円）、前期末比では実質38億円減少（為替影響＋107億円）.
- 棚卸資産回転期間は、前年同期比で27日改善、前期末比では８日改善.
- 好調な売上や仕入コントロールにより前年同期比で在庫が減少、中国は成長に伴い在庫は増加も棚卸資産回転期間は改善.

■連結

（単位：億円）	FY23 Q2	FY23Q4	FY24 Q2	前年同期比	前期末比
連結	1,408	1,212	**1,281**	△127	+69
内、洋上在庫	195	213	**260**	+65	+47
DIO（棚卸資産回転期間）	181日	162日	**154日**	△27日	△8日

■カテゴリー別 ※

（単位：億円）	FY23 Q2	FY23Q4	FY24 Q2	前年同期比	前期末比
P.RUN	658	555	**529**	△129	△26
CPS	128	137	**130**	+2	△7
APEQ	117	96	**86**	△31	△10
SPS	109	101	**125**	+16	+24
OT	131	132	**165**	+34	+33

■主要地域別

（単位：現地通貨）	FY23 Q2	FY23Q4	FY24 Q2	前年同期比	前期末比
アシックスジャパン（億円）	167	151	**118**	△49	△33
米国（M USD）	194	164	**156**	△38	△8
欧州（M EUR）	256	236	**212**	△44	△24
中国（M RMB）	674	707	**746**	+72	+39

※ カテゴリー別棚卸資産残高には洋上在庫を含めておりません.

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

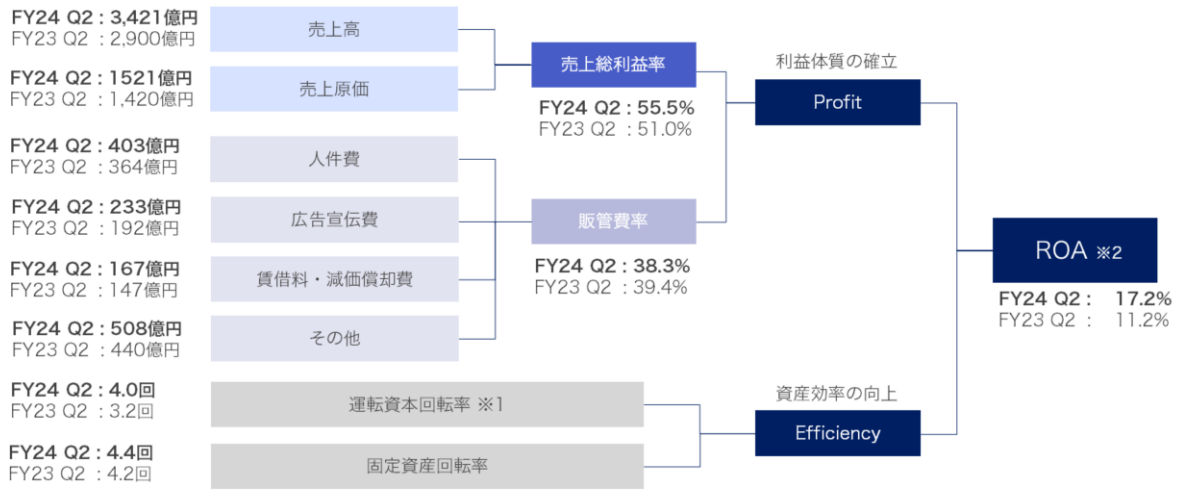
連結棚卸資産残高です。

2024年6月末の棚卸資産残高は、前期末比では69億円の増加となっておりますが、
こちらには為替影響による押し上げ107億円が含まれるため、
実質38億円の減少です。

また、前年同期比でも93億円の為替影響を考慮すると実質220億円の大幅減少となっており、DIOも27日削減となりました。

ROAツリー分解

- プロダクト・チャネル・リージョンミックスの改善継続により、売上総利益率が大幅に上昇.
- 売上が伸長も運転資本は減少し、運転資本回転率も大きく改善.



※1 社内目標として運転資本を設定しているため流動資産回転率ではなく運転資本回転率を記載しております.

※2 ROA ＝ 2024年12月期中間純利益 ／ （2023年12月期期末総資産 + 2024年12月期第2四半期総資産）÷2 × 2

34

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

ROAです。

売上総利益率の改善に加え、売上伸長による運転資本回転率の改善等もあり、17.2%と大幅に良化しました。

INDEX

1. 決算ポイント、トピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
4. 連結経営成績（地域別）
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. その他
Appendix

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2024年12月期 連結業績予想

- 2024年12月期は、パフォーマンスランニングを軸に、スポーツスタイルとオニツカタイガーの足元の好調な状況を考慮した結果、売上高および各段階利益はいずれも過去最高となる見込み.
- 剰余金の配当は、当期の業績やキャッシュ・フローの状況を総合的に勘案した結果、中間配当40円、期末配当10円（株式分割後）を見込む.
なお、株式分割を考慮しない場合の期末配当の予想額は、期末配当40円の通期80円を見込む.

（単位：億円）	FY23 実績	FY24 予想	増減率	（ご参考）為替影響除く増減率
売上高	5,704	6,600	+15.7%	+11.9%
営業利益	542	950	+75.2%	+71.6%
営業利益率	9.5%	14.4%	+4.9ppt	-
経常利益	506	890	+75.6%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	352	580	+64.4%	-

配当金	中間	期末	通期
2023年12月期	25.0円	40.0円	65.0円
2024年12月期	40.0円	10.0円	- 円（※）

為替レート	USD	EUR	RMB
2023年12月期	140.45円	152.24円	19.86円
2024年12月期	150.00円	160.00円	20.00円

※ 2024年７月１日を効力発生日として１：４の株式分割を実施.

36

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

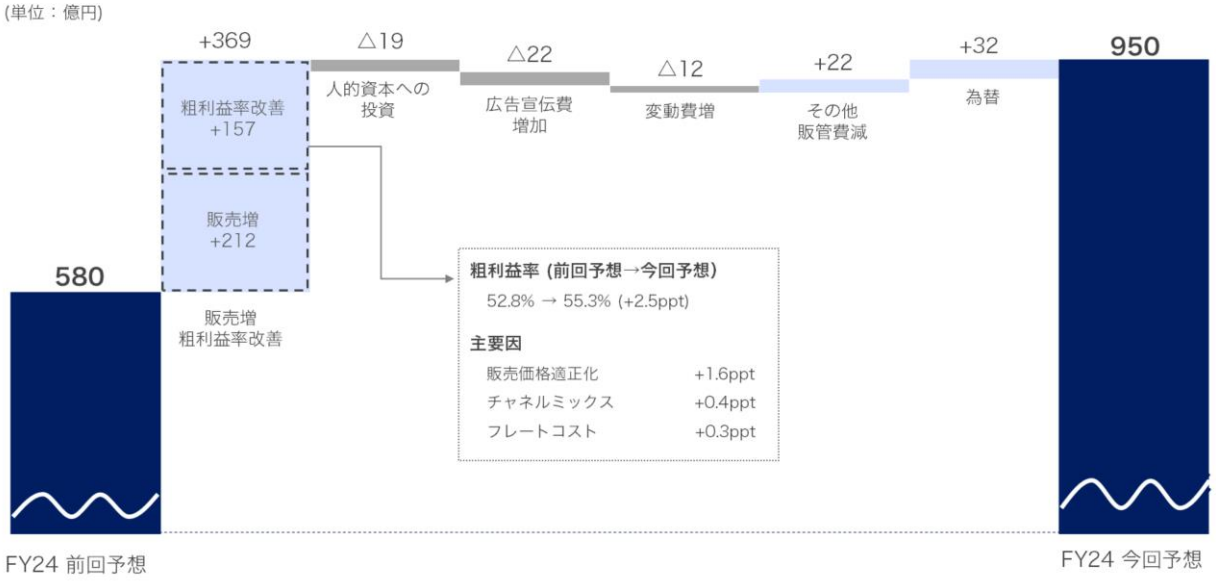
次に、2024年12月期 連結業績予想についてご説明致します。

パフォーマンスランニングを軸に、
スポーツスタイル及びオニツカタイガーでも好調が見込まれることから、
売上高及び各段階利益はいずれも過去最高となる見込みです。

売上高は前年から約16％増の6,600億円、営業利益は約75％増の950億円、
営業利益率は14.4％を見込みます。

剰余金の配当については、中間配当40円、期末配当は株式分割後ベースで10円を
見込みます。
また、冒頭でも触れた通り、中期経営計画2026の数値目標を1年目に
前倒し達成できる見込みであり業績が好調に推移していることに加えて、
財団設立による潜在的な株式希薄化への対応、さらには政策保有株式の
売却益の還元という観点を踏まえ、200億円の自己株式取得も進めてまいります。

2024年12月期 連結営業利益予想増減：要素別



37

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

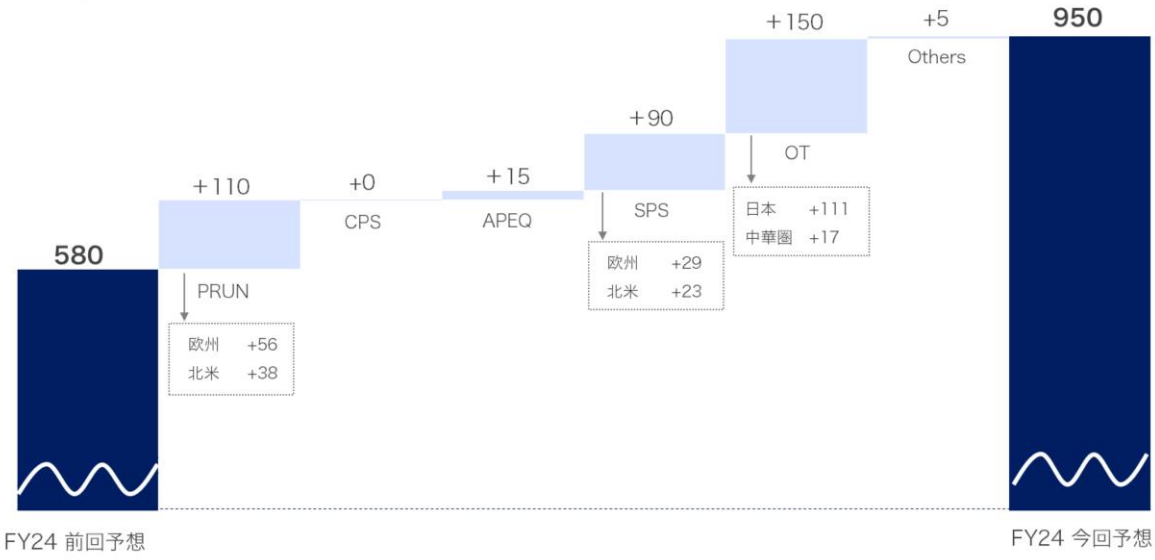
こちらのグラフは前回予想の580億円から2024年予想の950億円の
要素別の増減内訳を示しております。

粗利益率の改善と増収に伴う販売増が増額分のほとんどを占めています。
年間の粗利益率は、販売価格適正化やチャネルミックスの改善等に伴い
＋2.5pptの良化を予想しております。

次のページに、カテゴリー別で見た増減スライドを入れております。
後ほど、ご覧いただければと思います。

2024年12月期 連結営業利益予想増減：カテゴリー別

(単位：億円)



© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

INDEX

1. 決算ポイント、トピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
4. 連結経営成績（地域別）
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. その他
Appendix

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

このスライドでは、アシックスのESGに関する取組みをご紹介させていただきます。

6月には、サステナビリティレポートを発行いたしました。

また、オリンピックのTEAM JAPANに
オフィシャルスポーツウェアを提供いたしました。
代表選手が着用するポディウムジャケットやパンツは、
前回大会比で34%の温室効果ガス排出量を削減しております。

社会・ガバナンスに関連する取組みについても資料に記載をしておりますので、
お時間のある際にご確認をいただければと思います。

無形資産に関する取組み

統合報告書2023発行（こちらからご確認いただけます）

- 新たな経営体制での初めての統合報告書となり、新リーダーシップメンバーからのコミットメントを掲載
- アシックスの強みだけでなく、弱みにもしっかりと向き合い、課題と戦略を記載

特集
1 COO×SAP社 CROとの対談

- 「グローバル×デジタル」をテーマに対談を実施
- SAP社から見たアシックスのデジタル/ITについて発信

特集
2 CFO×投資家 対談

- 著書の中で、アシックスに対する厳しい指摘をされている
  農林中金バリューインベストメンツのCIO 奥野氏と対談を実施

特集
3 社外取締役×セルサイドアナリスト×機関投資家 座談会

- 社外取締役と資本市場関係者（アナリスト/投資家）との対談を初めて実施
- 取締役会の実効性等の実態を発信する機会を創出

41

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

加えて、新たな経営体制で統合報告書も発行いたしました。

昨年の統合報告書に対する評価結果を踏まえ、アシックスの弱みにもしっかりと向き合い、課題と戦略を記載しております。

社外取締役と投資家の座談会の様子なども収めておりますので、
お読みいただければ幸いです。

後続のページに、様々なデータがございますので、ご参考ください。
なお、スライド43にて開示の通り、次回インベストメントデイにて、
中期経営計画2026見直しとSPSをテーマに開催予定です。

私からの説明は以上となります。ご清聴ありがとうございました。

INDEX

1. 決算ポイント、トピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
4. 連結経営成績（地域別）
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. その他

Appendix

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

IRカレンダー

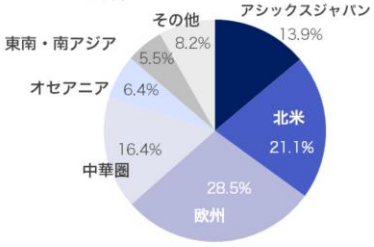
主な予定		登壇者（予定）
11月8日	**2024年12月期第３四半期決算　決算発表** ライブ配信 機関投資家、アナリスト、報道機関向け	COO 富永、CFO 林
11月19日	**第11回　インベストメントデイ** テーマ：「中期経営計画2026の見直し」及び「SPS戦略」（予定）	未定
2025年2月	**2024年12月期決算　決算発表** 決算説明会 報道機関向け 決算説明会 機関投資家、アナリスト、報道機関向け	CEO 廣田、COO 富永、CFO 林

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

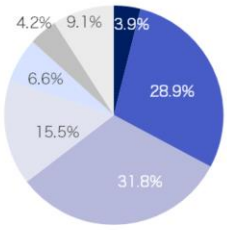
カテゴリー別地域別売上高構成（2024年第2四半期）

■アシックスジャパン ■北米 ■欧州 ■中華圏 ■オセアニア ■東南・南アジア ■その他

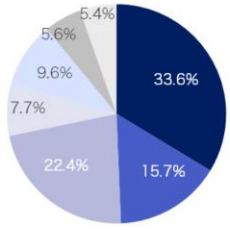
全体



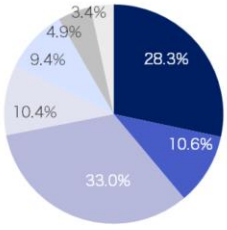
P.RUN



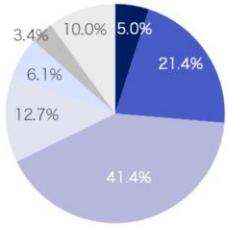
CPS



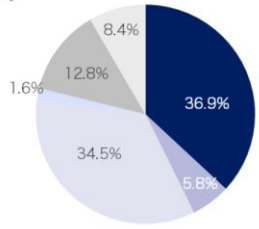
APEQ



SPS

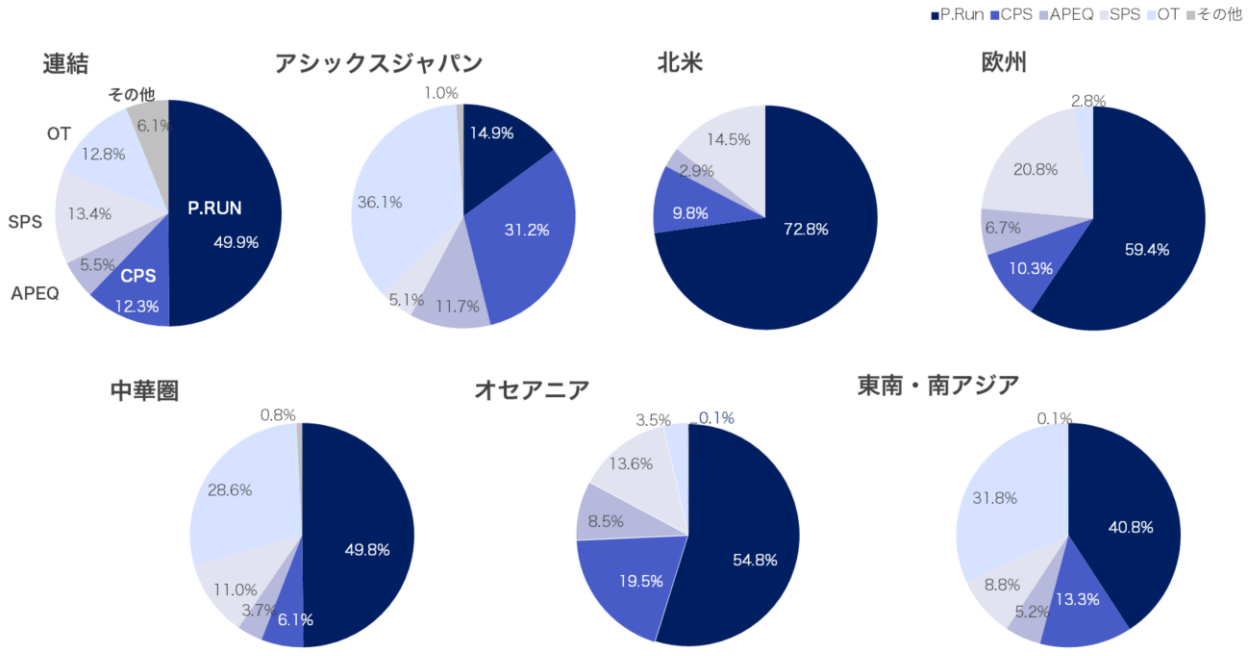


OT



© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

主要地域別カテゴリー別売上高構成（2024年第2四半期）



© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2024年12月期 第2四半期（中間期） 地域別実績

（単位：億円）

日本	FY23 Q2 (1-6月)	FY24 Q2 (1-6月)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	691	**798**	+107	+15.6%
為替影響除く		**798**	+107	+15.6%
営業利益	80	**130**	+50	+62.5%
営業利益率	11.6%	**16.3%**	-	+4.7ppt

中華圏	FY23 Q2 (1-6月)	FY24 Q2 (1-6月)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	404	**530**	+126	+31.3%
為替影響除く		**490**	+86	+21.5%
営業利益	84	**119**	+35	+40.8%
営業利益率	21.1%	**22.5%**	-	+1.4ppt

アシックスジャパン（日本地域の内数）	FY23 Q2 (1-6月)	FY24 Q2 (1-6月)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	363	**451**	+88	+24.2%
為替影響除く		**451**	+88	+24.2%
営業利益	48	**104**	+56	+116.7%
営業利益率	13.4%	**23.1%**	-	+9.7ppt

オセアニア	FY23 Q2 (1-6月)	FY24 Q2 (1-6月)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	188	**206**	+18	+9.4%
為替影響除く		**187**	△1	△0.6%
営業利益	31	**37**	+6	+18.6%
営業利益率	16.6%	**18.0%**	-	+1.4ppt

北米	FY23 Q2 (1-6月)	FY24 Q2 (1-6月)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	559	**677**	+118	+21.1%
為替影響除く		**604**	+45	+8.1%
営業利益	5	**67**	+62	+1,227.7%
営業利益率	0.9%	**9.9%**	-	+9.0ppt

東南・南アジア	FY23 Q2 (1-6月)	FY24 Q2 (1-6月)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	134	**176**	+42	+31.1%
為替影響除く		**161**	+27	+20.8%
営業利益	29	**39**	+10	+33.2%
営業利益率	22.1%	**22.4%**	-	+0.3ppt

欧州	FY23 Q2 (1-6月)	FY24 Q2 (1-6月)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	783	**915**	+132	+16.9%
為替影響除く		**817**	+34	+4.5%
営業利益	79	**150**	+71	+89.6%
営業利益率	10.2%	**16.5%**	-	+6.3ppt

その他地域	FY23 Q2 (1-6月)	FY24 Q2 (1-6月)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	242	**243**	+1	+0.7%
為替影響除く		**222**	△20	△8.5%
営業利益	26	**43**	+17	+64.3%
営業利益率	11.0%	**17.9%**	-	+6.9ppt

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2024年12月期 第2四半期（中間期） 地域別実績

（単位：億円）

日本	FY23 Q2 (4-6月)	FY24 Q2 (4-6月)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	328	**398**	+70	+21.5%
為替影響除く		**398**	+70	+21.5%
営業利益	33	**65**	+32	+95.0%
営業利益率	10.0%	**16.1%**	-	+6.1ppt

中華圏	FY23 Q2 (4-6月)	FY24 Q2 (4-6月)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	213	**292**	+79	+37.3%
為替影響除く		**268**	+55	+25.6%
営業利益	39	**62**	+23	+55.0%
営業利益率	18.7%	**21.1%**	-	+2.4ppt

アシックスジャパン（日本地域の内数）	FY23 Q2 (4-6月)	FY24 Q2 (4-6月)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	166	**213**	+47	+28.3%
為替影響除く		**213**	+47	+28.3%
営業利益	21	**52**	+31	+147.6%
営業利益率	12.7%	**24.4%**	-	+11.7ppt

オセアニア	FY23 Q2 (4-6月)	FY24 Q2 (4-6月)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	73	**90**	+17	+22.1%
為替影響除く		**78**	+5	+7.6%
営業利益	11	**12**	+1	+14.0%
営業利益率	14.4%	**13.4%**	-	△1.0ppt

北米	FY23 Q2 (4-6月)	FY24 Q2 (4-6月)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	298	**347**	+49	+16.5%
為替影響除く		**309**	+11	+3.5%
営業利益	8	**33**	+25	+279.8%
営業利益率	2.9%	**9.3%**	-	+6.4ppt

東南・南アジア	FY23 Q2 (4-6月)	FY24 Q2 (4-6月)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	65	**85**	+20	+30.4%
為替影響除く		**77**	+12	+19.5%
営業利益	12	**17**	+5	+39.6%
営業利益率	19.0%	**20.3%**	-	+1.3ppt

欧州	FY23 Q2 (4-6月)	FY24 Q2 (4-6月)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	339	**432**	+93	+27.4%
為替影響除く		**387**	+48	+14.4%
営業利益	14	**54**	+40	+285.0%
営業利益率	4.1%	**12.5%**	-	+8.4ppt

その他地域	FY23 Q2 (4-6月)	FY24 Q2 (4-6月)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	112	**116**	+4	+4.5%
為替影響除く		**109**	△3	△3.0%
営業利益	8	**18**	+10	+131.6%
営業利益率	7.2%	**15.9%**	-	+8.7ppt

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2024年12月期 連結業績予想：カテゴリー別

（単位：億円）		FY24 前回予想	FY24 今回予想	増減率	為替影響を除く増減率	FY23 実績	増減率	為替影響を除く増減率
P.RUN	売上高	3,000	3,220	+7.3%	+1.6%	2,859	+12.6%	+8.0%
	カテゴリー利益	570	680	+19.3%	+14.5%	500	+36.0%	+32.0%
	カテゴリー利益率	19.0%	21.1%	+2.1ppt	-	17.5%	+3.6ppt	-
CPS	売上高	800	790	△1.3%	△5.2%	721	+9.5%	+6.3%
	カテゴリー利益	130	130	+0.0%	△3.4%	128	+1.5%	△0.9%
	カテゴリー利益率	16.3%	16.5%	+0.2ppt	-	17.8%	△1.3ppt	-
APEQ	売上高	350	360	+2.9%	△1.6%	361	△0.5%	△3.7%
	カテゴリー利益	15	30	+100.0%	+86.6%	10	+199.4%	+185.4%
	カテゴリー利益率	4.3%	8.3%	+4.0ppt	-	2.8%	+5.5ppt	-
SPS	売上高	680	900	+32.4%	+24.8%	592	+51.9%	+45.6%
	カテゴリー利益	130	220	+69.2%	+60.3%	120	+82.6%	+75.7%
	カテゴリー利益率	19.1%	24.4%	+5.3ppt	-	20.3%	+4.1ppt	-
OT	売上高	670	900	+34.3%	+30.7%	603	+49.2%	+47.4%
	カテゴリー利益	170	320	+88.2%	+84.9%	153	+108.3%	+106.7%
	カテゴリー利益率	25.4%	35.6%	+10.2ppt	-	25.5%	+10.1ppt	-

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2024年12月期 連結業績予想：地域別

（単位：億円）		FY24 前回予想	FY24 今回予想	増減率	為替影響を除く増減率	FY23 実績	増減率	為替影響を除く増減率
日本 地域 ※1	売上高	1,380	1,620	+17.4%	-	1,358	+19.2%	-
	営業利益	140	270	+92.9%	-	127	+111.0%	-
	営業利益率	10.1%	16.7%	+6.6ppt	-	9.4%	+7.3ppt	-
うち、アシックスジャパン ※2	売上高	750	920	+22.7%	-	708	+29.8%	-
	営業利益	95	220	+131.6%	-	72	+203.2%	-
	営業利益率	12.7%	23.9%	+11.2ppt	-	10.2%	+13.7ppt	-
北米 地域	売上高	1,110	1,300	+17.1%	+9.5%	1,146	+13.4%	+6.5%
	営業利益	15	90	+500.0%	+481.9%	14	+524.6%	+507.3%
	営業利益率	1.4%	6.9%	+5.5ppt	-	1.3%	+5.6ppt	-
欧州 地域	売上高	1,480	1,680	+13.5%	+6.8%	1,479	+13.5%	+8.3%
	営業利益	125	220	+76.0%	+66.7%	141	+55.0%	+48.7%
	営業利益率	8.4%	13.1%	+4.7ppt	-	9.6%	+3.5ppt	-
中華圏 地域	売上高	935	990	+5.9%	+3.3%	776	+27.6%	+26.6%
	営業利益	175	200	+14.3%	+11.5%	131	+52.6%	+51.5%
	営業利益率	18.7%	20.2%	+1.5ppt	-	16.9%	+3.3ppt	-
オセアニア 地域	売上高	375	420	+12.0%	+0.8%	384	+9.2%	+1.9%
	営業利益	60	70	+16.7%	+4.5%	62	+12.2%	+4.4%
	営業利益率	16.0%	16.7%	+0.7ppt	-	16.2%	+0.5ppt	-
東南・南アジア 地域	売上高	330	360	+9.1%	+3.1%	271	+32.7%	+28.1%
	営業利益	60	70	+16.7%	+9.9%	49	+40.8%	+36.0%
	営業利益率	18.2%	19.4%	+1.2ppt	-	18.3%	+1.1ppt	-

※1　日本地域には、他の地域にはない主要5カテゴリー以外を販売する会社も含まれております。他の地域との比較可能性を考え、アシックスジャパンを日本地域の内訳として記載しております。
なお、日本地域には、アシックスジャパン、アシックス商事、ニシスポーツなどの会社を含みます。
※2　前期との比較可能性を考え、アシックスジャパンのFY23売上高と営業利益からは、FY24よりアシックス商事に移管した事業の売上高と営業利益を除いており、2月9日に発表したガイダンスからは表記が変更となっております。
なお、移管した事業の2023年通期売上高は139億円、営業利益は11億円です。

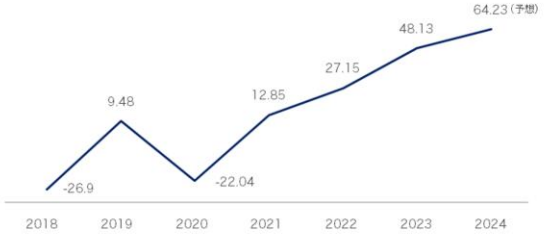
© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

株価及び指標の推移

■株価推移 2017年末 - 2024年8月9日

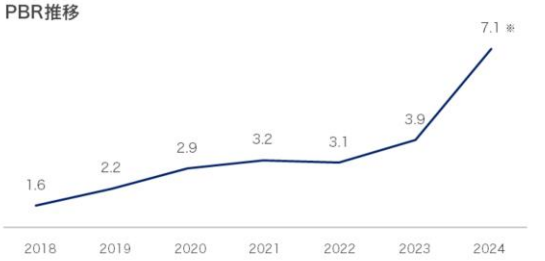
出所：ブルームバーグ

■ EPS推移



出所：ブルームバーグ

■ PBR推移



※ 8月9日時点

出所：ブルームバーグ

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

sound mind, sound body

DISCLAIMER 将来見通しに関する記述についての注意

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。したがって、これらの業績見通しのみに全面的に依拠することは控えてくださいますよう、お願いいたします。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実性により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性には、当社の事業を取り巻く経済情勢、さまざまな競争圧力、関連法律・法規、為替レートの変動などを含みます。
ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.